

■就職活動状況

議長より2年生の就職活動状況について委員に報告した。

内定	9名	Web制作企業	2名
		ユーザー企業（教育研修、不動産投資）	2名
		システム開発企業	1名
		映像技術者アウトソーシング企業（※1）	4名
		Web制作者アウトソーシング企業（※2）	0名
未決定	4名	7月中に早期内定を出すアウトソーシング企業を受験予定	
秋以降活動	8名	東京都専門人材訓練生（※3）	
就職せず現状維持	1名	YouTuberとしての活動継続（事務所所属）	
活動せず	1名	就活に踏み切れず。	

【川辺】

映像技術者アウトソーシング企業で内定を確保した。

TV番組制作スタッフへの技術派遣。採用枠が多く、早期に内定が出るため、映像系希望者は全員エントリーを行った。

Web制作者アウトソーシング企業の選考難易度を検証中。

課題であったWeb制作のアウトソーシング企業。1社候補を見つけ、現在1名選考中。

東京都訓練生（30代：3名、20代：5名）は年明け中途市場で勝負させる予定。

Web未経験＋就業経験有の応募者がどこまで通用するかが未知数。昨年度は3名全員就職している。

【川辺】

TVの現場へ技術派遣を行なっている企業担当者から聞いた話だが、現在、とにかく人が足りないとのこと。

現在、当科から4名内定者をだしている。

【中山委員】

TVとネットの違いで大きなところは、放送法という法律の縛りの中で、作業を進めなければいけないということ。

配信を止めてはいけない、帯域の制約などルールを維持しながら確実に作業をすすめていける人材が求められているということだと思う。

ノンリニアの仕事も増えているようで、細々とした仕事が積み重なっている状況で人手不足が顕在化している。

■就職活動状況について

議長より現在の2年生の就活状況について委員に報告。就職先の方向性についての意見を収集した。

内定	17名	Web制作企業	3名
		ユーザー企業	1名
		システム開発企業	2名
		アウトソーシング企業	11名
未決定	2名	東京都訓練生（年明け中途市場で勝負）	
進学・進路検討中	3名	別分野へ進学検討中、準備不足（行動が伴わない）	

■学科活動トピックス 2023/1～

議長より前回の編成委員会以降の学科活動のトピックスを報告。

① Web デザイナー検定（主催：CG-ARTS）

2022年度 受験者全員合格 100%達成

3年連続 CG-ARTS 団体賞受賞



② RJP（リアルジョブ・プロジェクト）

不動産仲介企業 「殖産ベスト社」 販促 PR 支援プロジェクト

マーケティング事業部とのコラボ。販促用の印刷物、動画、企業ロゴアニメーションなど複数の案件を受託。



受託案件一覧

- 1) 接客フロー説明動画
- 2) 関連企業4社 企業ロゴアニメーション
- 3) 店頭配布 地域情報冊子
- 4) 店頭装飾 ウォールステッカーデザイン
- 5) YouTubeエンディング映像制作
- 6) 企業キャラクター 3DCGモデル制作



動画制作

YouTubeエンディング

ロゴアニメーション

キャラクター3Dモデル

店頭ウォールステッカー

【杉山委員】

この受託案件は、お金をもらっているか？

【川辺】

費用はいただいている。費用をもらってしまうと納期順守しなければならず、RJPの授業スケジュールで進めることが困難になる。

今回は先方が学校とコラボしていることを宣伝・PRに使いたいとの意向で受託。

RJP 案件は納期調整が可能なこと、学科の宣伝に使えることを条件に受託可否判断をしている。

■新技術に取り組みについて

今後チャレンジする新技術テーマについて、委員より意見を収集した。

【川辺】

毎年、夏休み明けの3期(9-10月)に新技術へのチャレンジを行なっています。

Web3 関連技術をはじめとして、取り組むべき技術領域について、アイデア、ご意見を頂ければと思います。

【杉山委員】

以前も話が上がった、ムーロード商店街のメタバースでの再現は是非やってほしい。中野区も中野の町のメタバース化を考えている。中野サンプラザのメタバースに残し、独自通過も取り入れるなどの検討している。

【川辺】

今年は生成 AI を活用した何かができないか模索中。生成 AI をつかったグラフィックス制作など試しながらアイデアを検討中。

【中山委員】

世界のあまたあるツールを検証してみるとというプロジェクトは価値があると思う。動画と生成 AI を結びつけて何かできないか。

【叶委員】

コロナ明けでリアルのプロモーションが増え、デジタルサイネージが増えている。機材も安くなってきている。デジタルサイネージ用の動画が増えている。動画はワンソースマルチユースではなく、スクリーンごとに作っている。

【川辺】

新技術に取り組んでいくのが、毎年夏休み明け以降の3期～5期。次回の編成委員会で新しい技術を生かした成果を報告できるよう頑張ります。

以上